

平成21年10月2日

各 位

上場会社名 株式会社森精機製作所
 代表者 取締役社長 森 雅彦
 (コード番号 6141)
 問合せ先責任者 専務取締役経理財務本部長 近藤 達生
 (TEL 052-587-1811)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,000	△12,000	△12,000	△12,000	△135.48
今回発表予想(B)	31,000	△15,000	△15,000	△15,900	△179.51
増減額(B-A)	△4,000	△3,000	△3,000	△3,900	
増減率(%)	△11.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	93,704	9,881	8,759	4,478	47.95

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80,000	△20,000	△20,000	△20,000	△225.80
今回発表予想(B)	65,000	△28,000	△28,000	△28,700	△324.03
増減額(B-A)	△15,000	△8,000	△8,000	△8,700	
増減率(%)	△18.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	157,203	5,922	3,197	△2,153	△23.59

修正の理由

工作機械に対する需要は依然減退しており、また為替もUSDollarをはじめ円高方向に変動しておりますので、売上高は当初の予想を下回る見込みであります。当社グループでは、徹底したコスト削減を推進しておりますが、売上高減少に伴う影響等により利益も当初の予想を下回る見込みであります。

以上の理由から、平成22年3月期第2四半期連結累計期間及び平成22年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。

なお、当社は平成21年3月期から平成23年3月期までの3カ年を実行期間とする中期経営計画「PQR555」を推進して参りました。「PQR555」の基本方針は、日本工作機械工業会(日工会)シェア15%以上確保、グローバルアカウント・エマージング市場の開拓、材料費率低減・生産性改善による原価率低減、人材育成、品質向上、リスク管理などを柱としておりますが、この基本方針は策定当時から変更ございません。日工会受注シェアは、2009年4月から8月までで15.6%程度と目標の15%以上をすでに確保するなど、成果が出始めております。引き続き基本方針に沿って、「PQR555」を推進してまいります。

しかしながら、策定当時から事業環境、また為替が大きく変化しております。日工会受注総額の前提も大きく変化しており、より実態に即したものとするため、平成23年3月期の業績目標は、平成22年3月期下期の需要環境を鑑みて見直しを行う予定です。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上